

# 会 議 録

会議の名称	長期計画審議会（第9回）
事務局	企画財政部企画政策課企画政策係
開催日時	平成27年11月30日(月)午後6時～午後7時50分
開催場所	市民会館3階 萌え木ホール A会議室
出席者 (13人)	会長 渡邊 嘉二郎 委員 職務代理者 高橋 雅栄 委員 委員 久保 節紀 委員 中村 裕子 委員 渡邊 智子 委員 竹之内 一幸 委員 今井 啓一郎 委員 上原 和 委員 志田 尚紀 委員 本木 治子 委員 福元 弘和 委員 杉山 薫 委員 河野 律子 委員
欠席者 (3人)	岡本 鮎実 委員 鉄矢 悦朗 委員 齊藤 俊之 委員
事務局	企画政策課長 水落 俊也 企画政策課長補佐 中田 陽介 企画政策課主任 工藤 真矢 企画政策課主事 高野 修平 有限責任監査法人トーマツ 堀井 敬太 有限責任監査法人トーマツ 加藤 俊介
傍聴の可否	○ 一部不可 不可
傍聴者数	0人
<b>【会議次第】</b> 1 第4次基本構想・後期基本計画（案）に対する意見及び検討結果について 2 市民フォーラムを終えて 3 最終答申に向けて 4 その他	
<b>【会議結果】</b> 1 第4次基本構想・後期基本計画（案）に対する意見及び検討結果について ≪資料31,32≫ ○冒頭会長より説明 ・10月14日～11月13日の1か月間パブリックコメントを実施し、2人から6件のご意見をいただいた。 ・市の方で、11月12日議会へパブリックコメントの実施について行政報告し、2会派から52件のご意見をいただいた。	

- ・議会からは、最終答申が出る前に、審議会に見ていただきたいとのことで、この時点で意見がきている。
- ・議会の意見は、パブリックコメントではなく、審議会として必ずしも回答する義務が生じるものではないが、基本計画の策定にあたっては、審議会委員が、十分議論し進めてきたことから、これについても、審議会を確認することとしたい。
- ・資料の公表について、パブリックコメントの方は、パブリックコメントのルールに則り公表することとなっている。会派の方については、審議会として必ずしも回答する義務が生じるものではないため、扱いについて、行政の方でどのようにされるのか考えていただくということによるのか。

(異議なし)

#### ○グループ審議

- ・2つのグループ（グループ1：環境と都市基盤と地域と経済とグループ2：文化と教育と福祉と健康）に分かれて、それぞれの分野及び全体に関わる部分を審議した。

#### ○主な意見（各グループ代表から審議内容を発表）

- ・資料31、N0.1、大人が自慢できる公園ということだが、もう少しわかりやすい回答にすべき。
- ・資料31、N0.2、「市が産業振興で構える柱のうち」⇒「市の産業振興の柱のうち」にした方がいい。
- ・資料32のうち、数値目標が意見として出ているが、数値を具体化することについてはメリットデメリットがある。
- ・100%を目指すのはある意味当たり前だが、100%という数値を使うことによる問題もあるのではないかな。
- ・資料32、N0.7、「必ずしも財源確保のためだけにまちづくりを行うというものではないと考えています」は、少々敵対的な表現になっているようなので、ソフトな表現がいいのではないかな。
- ・N0.15 空き家対策について、「必要な改善」⇒「必要な対策」という表現が妥当ではないかな。
- ・N0.36 新庁舎建設について、「方向性を示すことと非常に関連性が高く」「非常に」は不要。「慎重に検討」⇒「総合的に考える」などがいいのではないかな。
- ・表現の中に主語がぶれているものがある。
- ・資料31、N0.4、ただ参加するのではなく、勤労者や学生などが主体としても活動しやすいように、という文章があったらいい。
- ・全体的に目標値は丸めた数値でいい。

- ・資料 32、NO.21、文化施設の効率運営については、稼働率の向上だけでなく、審議会でも意見が出ていた「質」の向上についても書いた方がいい。
  - ・資料 32、NO.22、NO.23、はけの森美術館の成果・活動指標については、目標設定を同じ基準で考えた方がいい。
  - ・資料 32、NO.24、わかりやすい表現にすべき。
  - ・資料 32、NO.28、わかりやすい表現にすべき。
  - ・資料 32、NO.30、エアコンについて「研究」⇒「検討」では。
  - ・資料 32、NO.35、目指すのであれば、100%でもいいのでは。
- 
- ・議会に要望を聞いたのであれば答えなくては行けないが、5年前の前期基本計画の策定時にはこのような意見は出ていない。よく読んでいただいてありがたいが、1つ1つ答えるべきなのか。「ご意見ありがとうございました。」で済ませてもよいのではないか。
  - ・審議会としては誠意をもって検討するが、その後の対応については市の方で検討いただきたい。
  - ・議会との対立構造にならないように配慮していただきたい。
  - ・審議の途中で議会からプレッシャーがあるのはよくない。

(意見があった部分については会長と事務局で調整し最終決定することとなった。)

## 2 市民フォーラムを終えて 《資料 33、34》

### ○参加した委員より感想

- ・リハーサルをやってとても良かった。
- ・参加者とたくさん意見交換をして、非常に充実していた。
- ・こがねいまちづくりカフェ（市民懇談会）に参加した方が、市民フォーラムにも参加できるような仕組みにしたらもっと良かった。

### ○事務局から資料 34 をもとに説明

- ・こがねいまちづくりカフェ及び市民フォーラムで出た意見を最終的な答申に盛り込むこととしたい。

(了承)

### ○主な意見

- ・重点プロジェクトの目指すべき姿、「誰もが地域での生活を楽しみ、ふれあいとつながりが生まれる、きずなを結ぶまち」の「ふれあい、つながり、きずな」という3つの言葉がでていますが、どこがどのように違うのか。

⇒まず、人と人とのふれあいがあり、そこからつながりが生まれて、更に、きずなが固く結ばれる。という意味である。（事務局）

### 3 最終答申に向けて

#### ○委員より感想

- ・まちづくりカフェや市民フォーラム、また、審議会でも委員の方が積極的に参加されて議論を交わしている姿を見て、小金井市の未来は明るいと感じた。立場上、まとめ役としていたが、みなさんのご協力があったここまでこられた。
- ・小金井の農業について、みなさんが温かい目線で見えて、残していきたいと考えていただいていることを実感した。座長の渡邊会長をはじめ、先生方のご指導や話のまとめ方など非常に参考になり、有意義であった。
- ・人に恵まれた審議会であったと強く思う。資料を事前に読み込み、もっと専門分野をいかして意見を言えれば良かったが、今後もうこういう機会があったら参加していきたい。
- ・小金井に暮らして長い知らないことがたくさんあると毎回感じたが、みなさんの意見を聞いたり、資料を読み込んだり大変勉強になった。次回参加する機会があれば、もう少し知識を蓄え参加しようと思う。
- ・わきあいあいとした雰囲気の中、闊達な意見が交換される審議会であった。委員のみなさん、牧歌的でちょ田舎の小金井を愛していただいていると痛感した。「まちカフェ（市民懇談会）」では、参加した方がみな楽しんでいただき市政を知っていただくいい機会となり、提案いただいたトーマツさんのおかげと思う。今後はこの計画をいかして市政を担っていく立場であり、気を引き締める思いである。今後とも、よろしく願いしたい。
- ・この先もずっと小金井市にいるつもりである。次回の長期計画もその先の長期計画もみていきたいと思う。今後も商店街がどのように地域に貢献していかれるか常に考えていきたい。
- ・こういう機会が初めてで当初不安でいっぱいであったが、みなさんが色々なアドバイスをくれて支えてくれた。小金井で音楽をやっているが、様々課題や壁があるが、色々な世代と話すことで解決していくこともある。力不足を感じたが、今後も努力していきたい。
- ・1年間楽しく過ごさせていただいた。
- ・この長期計画審議会で審議したことは目立たないこともあるが、ぜひ実現させていただきたい。
- ・審議会の中でも、市民懇談会や市民フォーラムでも、みなが小金井を愛して、小金井のためにということを感じた。自分が小金井を好きな理由はそこにあると思う。小金井の良さを再確認した会であった。
- ・専門分野の方と一般市民としての意見をミックスできる審議会の委員構

成がよかった。プレゼンもいい経験になり充実した会であった。

- みなさんと会えたことが宝。
- メンバーに非常に恵まれた。みなさんの貴重なご意見は、今後の構想のときにも参考になるようにしていただきたい。市には、この計画の実現に向けてがんばってもらいたいが、委員のみなさんもこれを後押しするということで市を応援していただきたいと思う。それが小金井市をもっと元気にすることにつながると思う。

#### 4 その他

市長への答申：平成27年12月9日（水）17時から

～以上で会議終了～